

図書館だより2月号

小松高等学校
図書委員会
平成28年2月発行



早いもので、2016年がスタートしてもう一ヶ月が経ちます。この間まで新しい年の始まり…と気持ちも新たに頑張っていたはずなのに…、もう一度このあたりで気持ちを引き締めて仕切りなおしてみてもはどうでしょうか？

3年生は家庭学習に入り、1・2年生も少し時間にゆとりのあるこの時期こそ、有効に時間を使いたいものです。

めったに本なんて読まないという人も、少し書に親しんでみませんか？

新刊図書



書籍名	著者名	内容
ワイルド・ソウル	垣根涼介	国の移民政策による被害者たちのリベンジを優しい眼差しで爽快地に描いた作品。
武士道ジェネレーション	誉田哲也	剣道女子を描いた傑作ストーリー。正しい力とはこういうことだ！
教団X	中村文則	謎のカルト教団と革命の予感。神とは？ 運命とは？
考える練習をしよう 子どものためのライフ・スタイル	マリリン・バーンズ	頭を使えばいいってもんじゃない。大切なことは、頭をどういうふうにするか、なんだ。
山の不可思議事件簿	上村信太郎	山奥から響いてくる奇怪な音、雪男の足跡、埋蔵金の伝説、山は不可思議に満ちている。
シンドラに救われた少年	レオン・レイソン	「最悪の状況で最善のことにした」シンドラ。本当の勇気とは？
ゆる妖怪カタログ	妖怪文化研究会	身近に潜む愛嬌たっぷりの妖怪たち。その魅力満載。
目でみる漢字	おかべたかし	目で見て感じる漢字の写真集。納得！！



文学以外の書籍もいろいろ入りました。「山の不可思議事件簿」には私たちの知らない衝撃の出来事も掲載されています。気になったページだけでも読んでみてください。



第154回芥川賞決定!!!

平成28年1月19日（火）、第154回芥川賞が滝口悠生さんの『死んでいない者』と本谷有希子さんの『異類婚姻譚（いるいこんいんたん）』に決定しました。前回の又吉直樹さんの『火花』ほどの話題性はありませんが、図書館でも本を購入します。読んでみてください。



『異類婚姻譚』

本谷有希子

ある日、自分の顔が夫の顔とそっくりになっていることに気がついた…。

他人と一緒にいる「夫婦」という形式の魔力と違和感を描く作品。



『死んでいない者』

滝口悠生

秋のある日、大往生を遂げた男の通夜に集まった親戚の人々。死に思いをめぐ

らせ、互いを思い、家族の記憶がつながって…永遠の時間が作られる。

2月と言えば…バレンタイデー…

2月14日はバレンタインデー。以前は、女性から愛の告白（？）ということで男性にチョコレートを贈っていましたが、最近では、親しい人に感謝の気持ちを込めてチョコレートを贈ることが多いようです。でもやっぱり、今も昔も人を恋する気持ちは変わらない…そこで今月のお薦めは『万葉集』。



『万葉集』といえば現存する最古の歌集で、約4500首の和歌が収録されています。挽歌（ばんか人の死を悼む歌）や相聞歌（そうもんか男女や家族・友人間の親愛の情を詠んだ歌）をはじめ、様々な内容の和歌が収められており、当時の人々の暮らしや思いを知ることができます。お薦めは相聞歌（恋の歌）です。率直で飾らない人々のときめきが伝わってきます。

我が背子とふたり見ませばいくぼくかこの降る雪の嬉しくあらし

（あなたと一緒に二人で見ると、どれほどこの降る雪が嬉しく思われるでしょうか。）

水鳥の鴨の羽色の春山のおほつかなくも思ほゆるかも

（水鳥の羽の色みたいにはっきりしない春の山のようにあなたの気持ちがわからずもどかしく思います。）

この花の一節のうちに百種の言ぞ隠れるおろそかにすな

（この桜の枝にはたくさんの言葉が込められています。私の思いをおろそかにしないでください。）

紫のひともとゆえに武蔵野の草はさながらあはれとぞ見ゆ

（たった一輪の紫草のせいで、武蔵野に咲く花がすべて素晴らしく思われます。そのようにあなたの周りのすべてが愛しいのです。）



え～『万葉集』はちょっと
という人は、右のような
「超訳万葉集」等がお薦めです。

（調査担当：二年三組図書委員

日野誠・森永鈴）



